

< コロナ禍における私幼団体の実態調査 >

広島市

1. コロナ禍での行政とのやり取りがどの様に行われているか

市教育委員会における新型コロナウイルス感染症に関する留意事項や対応方法などの情報に関しての市立幼稚園や保護者に向けた通知文書等について、当協会にメールへの添付ファイル等で情報提供をしていただき、それを会員である私立幼稚園・認定こども園に各園の対応の参考としてお知らせしている。

2. 各政令市で感染者が出た時に、市がどこまで発表して、私幼団体がどこまで、どのように加盟園に伝えているか

広島市で感染者が出た時には、広島市の担当局長が逐一マスコミに発表する（学校関係の感染の場合は教育委員会の担当次長が同席）とともに広島市のホームページでその概要を公表しており市のホームページでは発生の第1号からこれまでの感染者の全てを網羅して掲載している。また、主要地方紙である中国新聞には全国の都道府県ごとの感染者の状況及び広島県内の感染の現況が毎日掲載されている。

こうした中で、別途個別に各園に情報提供の必要があると判断される場合には市の教育委員会との連携を図りながら情報提供を行うこととしている。

3. 研修会をどの様に行っているか

当協会主催の研修会については、8月末までのものは全て中止とした。10月14日（水）の特別支援教育研修講座（3）については、スクール形式で306名収容可能な広い会場を、3人掛けの机に各1人を指定して配置し、間隔も広く確保し53名の参加者で実施した。参加者は入場の際に非接触型体温測定器で熱がないことを確認するとともに、会場は換気を良くし、扉を開放して3密を避けて実施した。

今後の計画については、新型コロナウイルス感染症の状況を的確に把握したうえで実施するかどうか判断することとしている。

4. 予算が執行できない状況でどのように処理する予定でいるか

研修に係る市の補助金については、各園の感染症対策の機材や教材教具に使用できるよう市と協議し、概ねその方向で、市が基準の見直しや運用拡充の事務手続きをしているところである。

5. 就職に向けての学生とのつながりをどの様にとらえているか、また実行しているか

養成校との意見交換会を実施し就職に向け、学生たちの思考や希望等の現状について養成校を通して、実態把握し採用時の参考とする。

教育実習生の受け入れにより、幼稚園教諭へのやりがいや希望を持てるように、学生を知り、繋がりを持つように努めている。